

「第54回中学生海の絵画コンクール(九州・山口地区)」に入選して(感想文)



銅賞「港の風景」  
吉永さん



銅賞「漁師」  
西野さん



銅賞「海霧」  
中村さん



銅賞「輝く海の港」  
田川さん



銀賞「動き出そうとする船」  
中崎さん



銅賞「前進」  
有馬さん



銅賞「工場」  
アルシードさん



銀賞「迫力がある船」  
小西さん



銀賞「フェリーの出航」  
藤川さん



金賞「青空の下で」  
川口さん

【金賞】

長崎県佐世保市立  
日野中学校 2年  
川口 晴音



この度は金賞という素晴らしい賞を頂くことができて嬉しく思います。

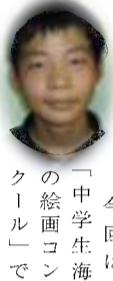
昨年出品はしましたが入賞することができず、大変悔しい思いをしました。今年は、前回よりも写真を細部までよく見て描くことに意識しました。私は細かいものを描くことが得意ではないので何度も描き直しました。

色塗りに関しては「去年は色が薄かった」という指摘を頂いたので、濃くすることに気をつけながら色を塗り重ねました。明暗のつけ方は顧問の先生から指導を受けつつ、頑張りました。また、遠近感の表現をするために地面には色の濃淡でグラデーションをつけました。

今回頂いた賞は確実に自分の自信へとつながりました。しかし、まだまだ未熟な点が多い事に気づいたので、今回気づけたことを糧として、さらにいい絵を描けるように頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

【銀賞】

長崎県佐世保市立  
日野中学校 2年  
藤川 雄樹

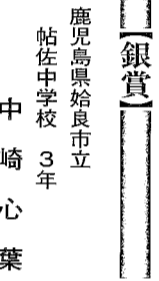


今回は、「中学生海の絵画コンクール」で銀賞という素晴らしい賞を頂くことができて嬉しく思います。

僕は二年生になってから美術部に入りました。そして初めてのコンクールで海の絵画コンクールを描きました。制作中は失敗ばかりしていましたが、だんだん海の波をリアルにしようとしていきました。失敗したところも描き直すことができました。

【銀賞】

鹿兒島県始良市立  
帖佐中学校 3年  
中崎 心葉



この度「中学生海の絵画コンクール」において、賞を頂けたことを、とても嬉しく思います。

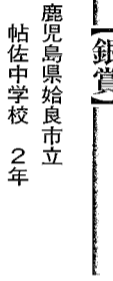
この絵を描くとき、船の堂々とした感じを自分らしく描けるよう、下書きから何度も描き直しました。船の柱や細かい線などをしっかりと描くことはとても大変でした。また、色塗りは空が明るいものではなく、暗いものだったため、どうやって空に表情をつけるかを悩み、顧問の先生方に相談して、アドバイスをもらい、何度も塗り直しました。船体もただ一色で塗るだけではなく、何色か色を混ぜることで、自分らしい色を作ろうと努力しました。そうして自分で納得のいく絵を完成させることができました。

この作品を描いていく中で、絵を描くことの楽しさを実感することができました。これからも楽しく絵を描き続けていきたいです。今回、この賞を頂けたことはとても貴重な経験になりました。ありがとうございました。

私はこの三年間「中学生海の絵画コンクール」で絵を描いてきました。一年生の時は外航船賞で、二年生では賞はいただくことができませんでした。しかし、中学生最後の年で銅賞という素晴らしい賞を頂けたことをとても嬉しく思います。

【銀賞】

鹿兒島県始良市立  
帖佐中学校 2年  
小西 ひかる

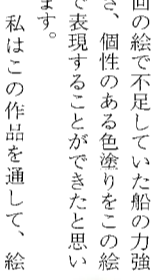


今回は、「中学生海の絵画コンクール」で銀賞という素晴らしい賞を頂けたことをとても嬉しく思います。

私は、今までポスターを含め、様々な絵を描いてきましたが船の絵は今回二枚目でした。一枚目の船の絵は、学校行事などが忙しくて完成度が低い作品になってしまいました。この悔しさをばねに私は今回二枚目の船の絵に挑戦することにしました。前回の絵で不足していた船の力強さ、個性のある色塗りをこの絵で表現することができたと思います。

【銅賞】

長崎県佐世保市立  
日野中学校 3年  
田川 美羽



この度は、「中学生海の絵画コンクール」で銅賞という素晴らしい賞を頂くことができて、とても嬉しく思います。

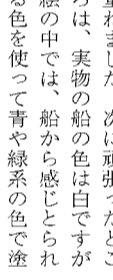
私が今回の絵を描くにあたって、頑張ったことは明暗をはっきりさせるところです。その中でも海に映る船の影を何回も色を重ねて暗くしたところ。一つ一つの物をはっきりさせて遠近感が出るように考えながら色を重ねました。次に頑張ったところは、実物の船の色は白ですが絵の中では、船から感じとられる色を使って青や緑系の色で塗りました。

私はこの三年間「中学生海の絵画コンクール」で絵を描いてきました。一年生の時は外航船賞で、二年生では賞はいただくことができませんでした。しかし、中学生最後の年で銅賞という素晴らしい賞を頂けたことをとても嬉しく思います。

私はこの三年間「中学生海の絵画コンクール」で絵を描いてきました。一年生の時は外航船賞で、二年生では賞はいただくことができませんでした。しかし、中学生最後の年で銅賞という素晴らしい賞を頂けたことをとても嬉しく思います。

【銅賞】

長崎県佐世保市立  
日野中学校 2年  
中村 青空



今回は、「中学生海の絵画コンクール」で銅賞という素晴らしい賞を頂くことができて、とても嬉しく思います。

私はこの三年間「中学生海の絵画コンクール」で絵を描いてきました。一年生の時は外航船賞で、二年生では賞はいただくことができませんでした。しかし、中学生最後の年で銅賞という素晴らしい賞を頂けたことをとても嬉しく思います。

【銅賞】

長崎県佐世保市立  
日野中学校 3年  
アルシード 倭人



この度は、美術部に所属している、部の活動でこの作品を描きました。中一から今年で三回目になります。

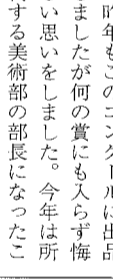
今回は、下場が映る海を描くことに挑戦しました。ところがこの作品は、描いている間に絵が真っ黒になってしまい、やる気が失いそうになることが何度もありました。しかし、中学校最後の作品なので、何度も何度も修正を繰り返して、やっと完成させることができました。その結果、このような賞を頂き、最後まで諦めないでよかったです。

今回の賞を励みに、高校でも他のコンクールでもたくさん賞を取ることができるよう、これからもたくさん絵を描いていきたいです。この度は、「中学生海の絵画コンクール」でこのような賞を頂きとてもうれしく思います。

私はこの三年間「中学生海の絵画コンクール」で絵を描いてきました。一年生の時は外航船賞で、二年生では賞はいただくことができませんでした。しかし、中学生最後の年で銅賞という素晴らしい賞を頂けたことをとても嬉しく思います。

【銅賞】

鹿兒島県鹿兒島市立  
伊敷中学校 3年  
有馬 向夏花



この度は、「海の絵画コンクール」において、このような素晴らしい賞を頂くことができて、とても嬉しく思います。

中学三年間で最後のこのコンクールに私の全力を注ぎました。特にこだわったのは船の細部を意識し、より本物に近く見えるようにしたことです。途中で何度も諦めそうになりました。たくさん泣いたりもしました。そんな時に支えてくれたのが母や締め切り間近までアドバイスをくれた先生方でした。母や先生方がいてくれたおかげで、私は、まだやれる。私なら

【銅賞】

長崎県佐世保市立  
日野中学校 1年  
西野 あいか



この度は、銅賞という素晴らしい賞をいただき、驚きつつも、とてもうれしく思っています。

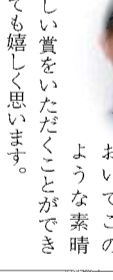
私は、絵のコンクールに取り組むのは初めてで、最初はとても不安でしたが、先生のアドバイスや周りの皆の応援のおかげで頑張ることができました。この絵を描くにあたって、特に難しかったところは、海にうつる船の影の表現や船の細部の表現です。船の影の部分は何度も重ねていき、光があたっている部分はいくつも細く線を重ねるなどの工夫をしました。船の細部は何がどうなっているかきちんと理解し、細かくしっかりとぬりました。佐世保にも面している海は、私たちの食を支える魚をあたえてくれる大切な存在です。おいしい魚を食べられるのは、漁業をしている人々たちのおかげです。これからは、海や漁業をしている人々に感謝して食べたいと思います。本当にありがとうございました。

私は正直、船の絵に対して苦手意識を持っていました。船という細部の描写まで気を配らないといけないし、何より海の着色には技術が必要になってくるからです。集中力が続かない私にとって、この作品の制作は苦行でしかなく、海も思うように塗れていないという状況でした。しかし、集中力については自分が集中できる時間を決めて制作することで身につけ、技術面については先生や友達をサポートによって表現力を高め、克服することができました。そしてこの絵は、自分を支えてくれた皆と自分の努力の結晶となり、心の底から愛しく思える存在となりました。ですから、今回、このような賞を頂けて本当に嬉しいです。今後もお世話になった方々への感謝を忘れる事なく作品制作に励んでいきたいです。この度は、本当にありがとうございました。

私は正直、船の絵に対して苦手意識を持っていました。船という細部の描写まで気を配らないといけないし、何より海の着色には技術が必要になってくるからです。集中力が続かない私にとって、この作品の制作は苦行でしかなく、海も思うように塗れていないという状況でした。しかし、集中力については自分が集中できる時間を決めて制作することで身につけ、技術面については先生や友達をサポートによって表現力を高め、克服することができました。そしてこの絵は、自分を支えてくれた皆と自分の努力の結晶となり、心の底から愛しく思える存在となりました。ですから、今回、このような賞を頂けて本当に嬉しいです。今後もお世話になった方々への感謝を忘れる事なく作品制作に励んでいきたいです。この度は、本当にありがとうございました。

【銅賞】

鹿兒島県鹿兒島市立  
紫原中学校 3年  
吉永 茉由理



この度は、銅賞という素晴らしい賞を頂くことができて、とても嬉しく思います。

私は正直、船の絵に対して苦手意識を持っていました。船という細部の描写まで気を配らないといけないし、何より海の着色には技術が必要になってくるからです。集中力が続かない私にとって、この作品の制作は苦行でしかなく、海も思うように塗れていないという状況でした。しかし、集中力については自分が集中できる時間を決めて制作することで身につけ、技術面については先生や友達をサポートによって表現力を高め、克服することができました。そしてこの絵は、自分を支えてくれた皆と自分の努力の結晶となり、心の底から愛しく思える存在となりました。ですから、今回、このような賞を頂けて本当に嬉しいです。今後もお世話になった方々への感謝を忘れる事なく作品制作に励んでいきたいです。この度は、本当にありがとうございました。

謹賀新年

本年も、支障のほど、よろしくお願ひ申し上げます  
平成三十年 元旦

九州海事広報協会

- 会長 竹永健二郎
- 副会長 鶴丸 俊輔
- 理事 小笠原 朗
- 監事 同 同
- 事務局 同 同